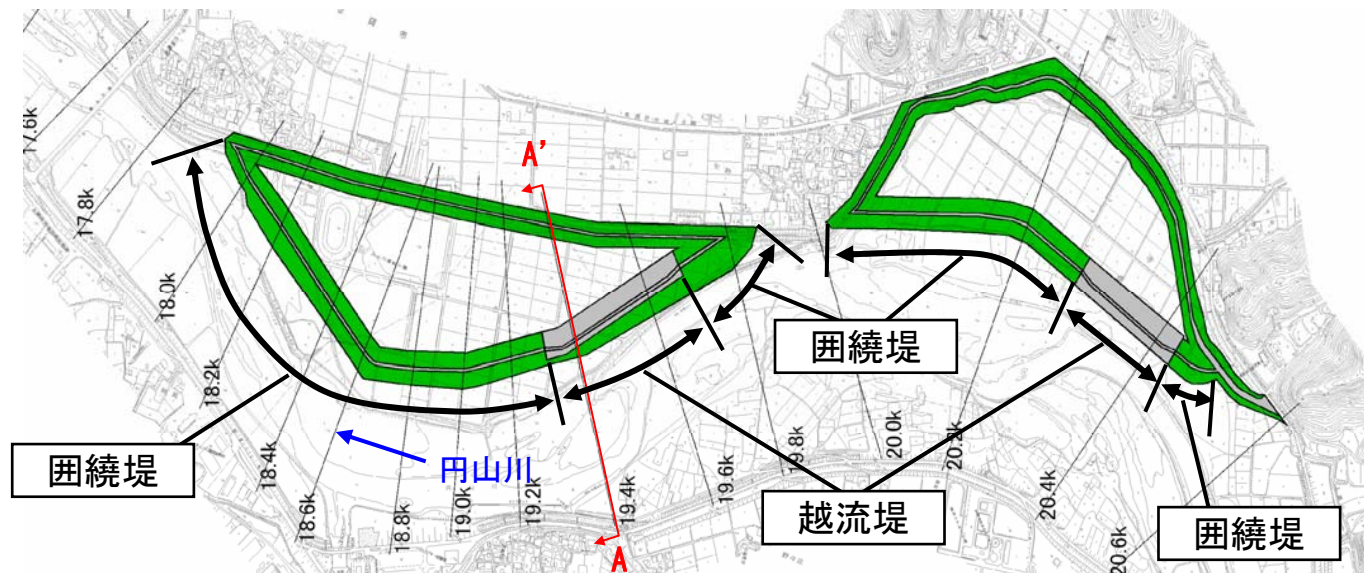


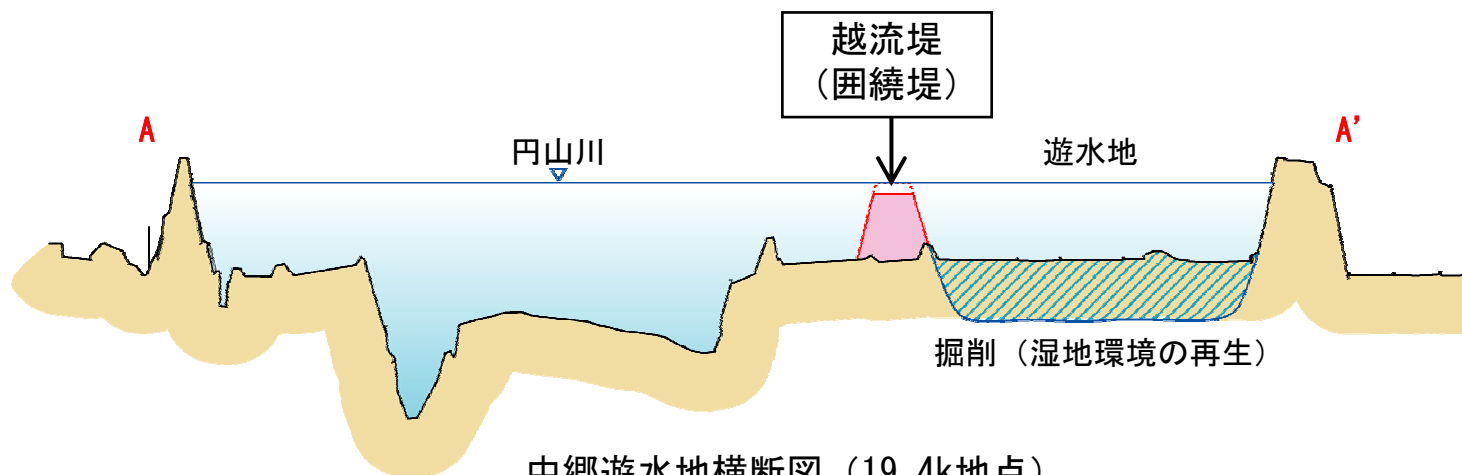
中郷遊水地整備の住民からの質問

(資料2-2(3)別紙-1)

遊水地は洪水による災害の発生防止又は軽減のために設置するものです。しかし、河川整備計画（原案）をお示したところ、複数の方から大きく5項目の質問を頂いています。



中郷遊水地平面図



中郷遊水地横断図 (19.4k地点)

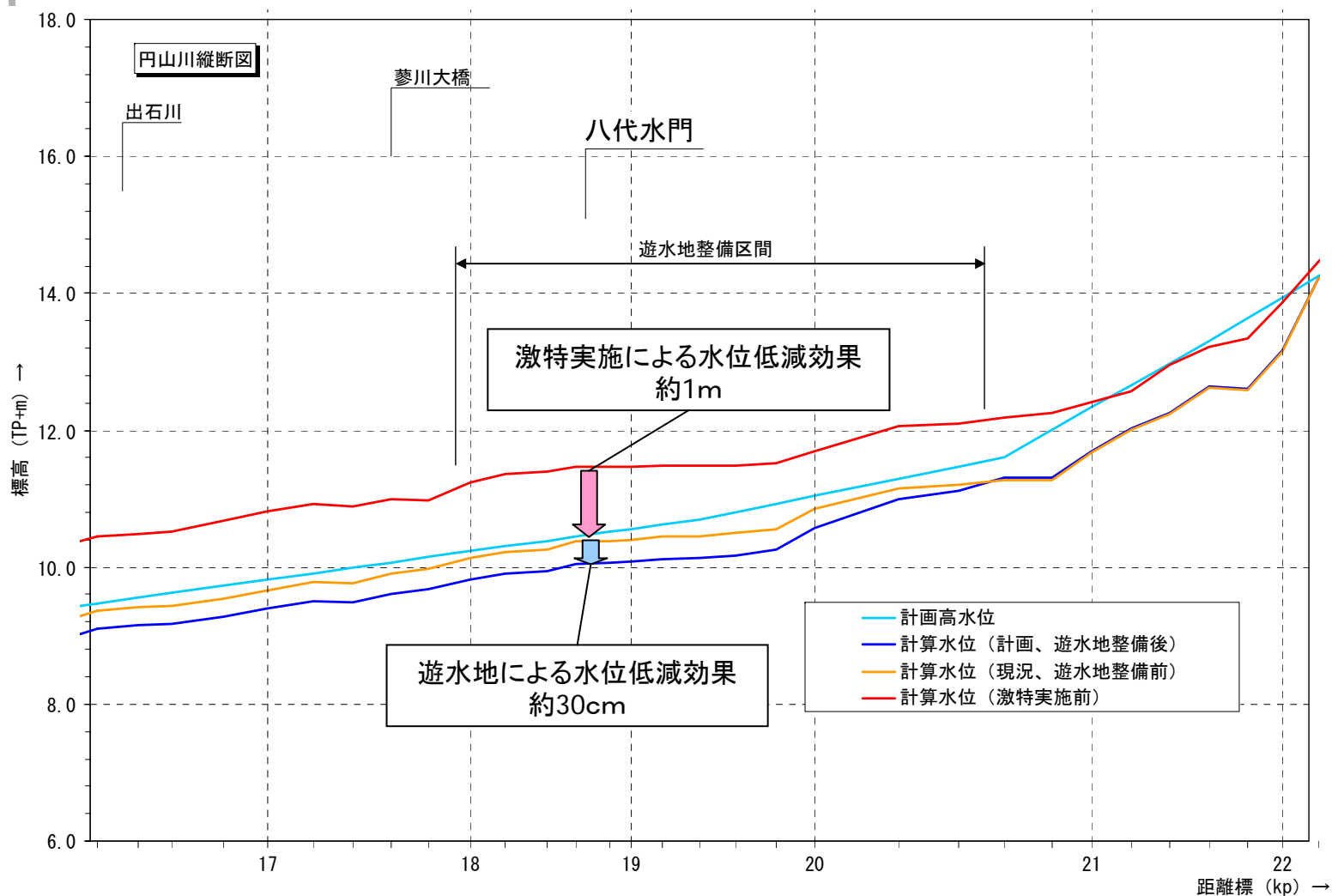
5項目の質問

- ①川の中に設置される囲繞堤（遊水地と円山川との間に設置する小堤）や越流堤（囲繞堤の一部を低くさせた小堤で、下流への増水を抑えるため洪水の一部を遊水地に導くところ）により川幅が狭くなることから、洪水時の水位が上昇し危険度が增大するのではないか。
- ②同様に川幅が狭くなることから、洪水時の堤防付近の流速が早くなり危険度が增大するのではないか。
- ③同様に川幅が狭くなることから、越流堤を越えるまでの円山川の水位上昇が従前より早まり、八代水門や西芝樋門などの閉鎖時間が早まり、内水被害が増大するのではないか。
- ④同様に川幅が狭くなることから、越流堤を越えるまでの円山川の水位上昇が従前より早まり、八代排水機場のポンプ停止時間が早まり、内水被害が増大するのではないか。
- ⑤同様に川幅が狭くなることから、平成16年の台風23号洪水を上回るような洪水によって、遊水地が満水になった場合は、洪水時の流下断面が阻害され、危険度が增大するのではないか。

① 囲繞堤等により川幅が狭くなることから、洪水時の水位が上昇し危険度が増大するのではない
か。

①について

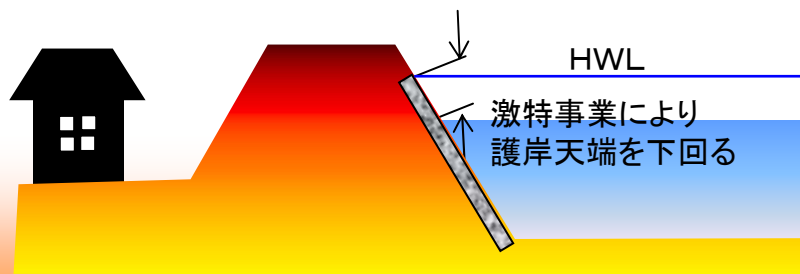
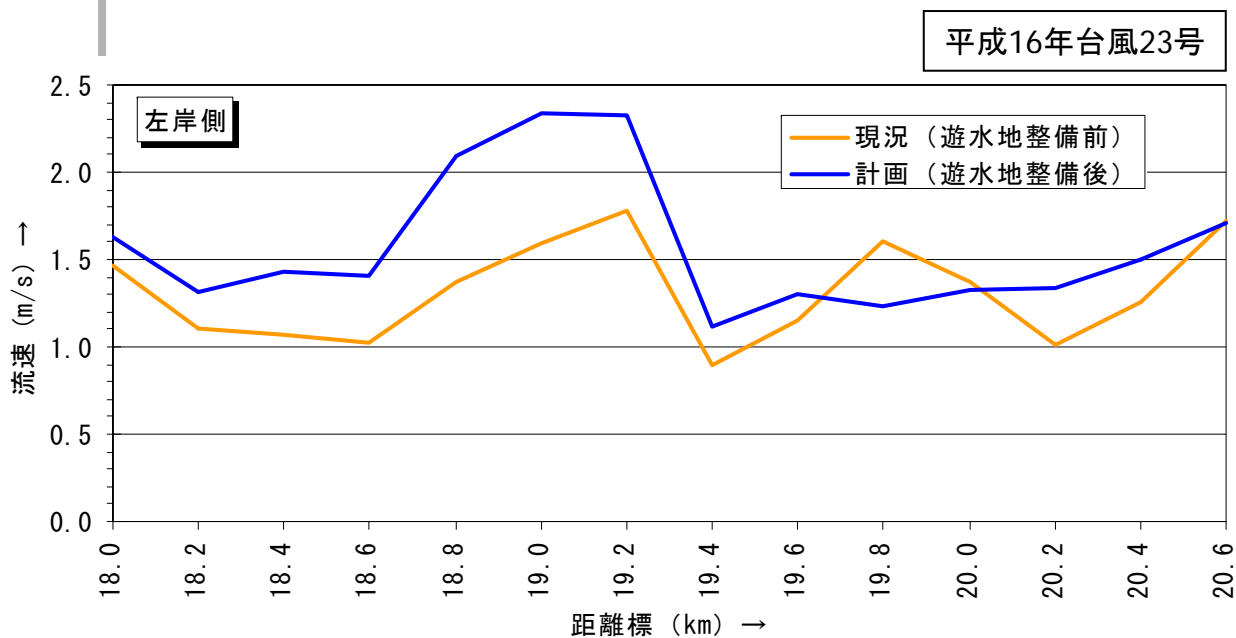
- 激特事業により下流を掘削したことから八代水門地点で約1mの水位低減。
- 更に遊水地を整備することにより、同地点で約30cmの水位低減。
- 遊水地整備後は平成16年の台風23号時の洪水位より約1m30cmの水位低減。



② 囲繞堤等により川幅が狭くなることから、洪水時の堤防付近の流速が早くなり危険度が增大するのではないか。

②について

- 遊水地整備後の左岸付近の流速は18.8kから19.2k付近で最大2.3m/s程度である。
- 当該区間は、現況で既に計画高水位までコンクリート護岸で覆われており、平成16年台風23号洪水については計画高水位以下まで低下させていることから治水上問題となることはない。



復旧工法例		設計流速 (m/s)						
		2	3	4	5	6	7	
植生系	張芝	■						
	シート系							
木系	ジオテキスタイル	■	■					
	ブロックマット	■	■	■				
	丸太格子	■	■	■				
石系	粗朶法枠	■	■	■				
	杭柵	■	■	■				
かご系	自然石 (空張)	■	■	■				
	自然石 (練張)	■	■	■	■	■	■	■
かご系	植生蛇籠	■	■	■				
	かごマット (平張)	■	■	■				
コンクリート系	ポーラスコンクリート	■	■	■	■	■	■	■
	連節ブロック	■	■	■				
	環境保全型ブロック	■	■	■				
	コンクリートブロック張	■	■	■				

※美しい山河を守る災害復旧
基本方針より抜粋

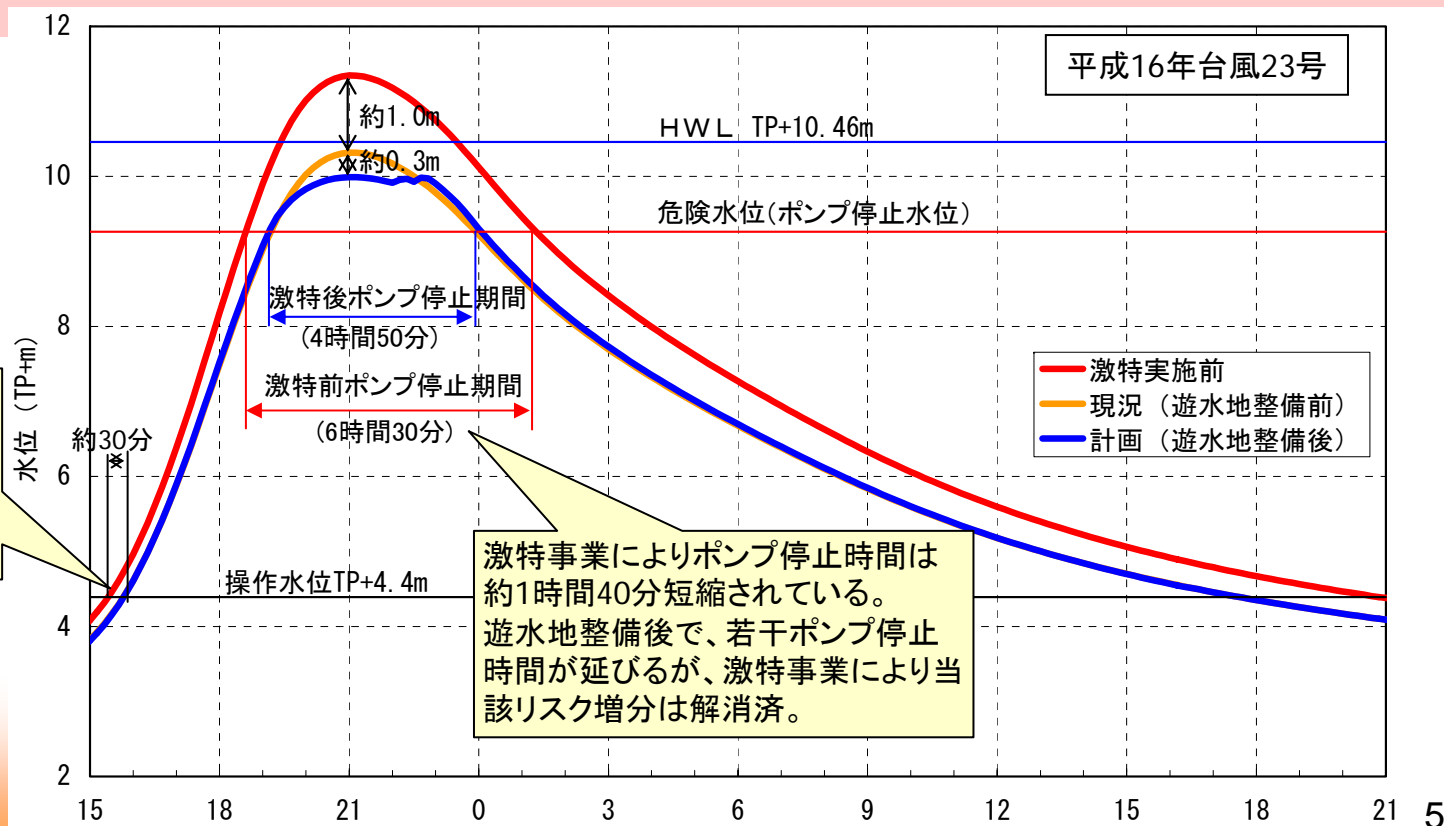
- ③ 囲繞堤等により川幅が狭くなることから、越流堤を越えるまでの円山川の水位上昇が従前より早まり、八代水門や西芝樋門などの閉鎖時間が早まり、内水被害が増大するのではないか。
- ④ 囲繞堤により川幅が狭くなることから、越流堤を越えるまでの円山川の水位上昇が従前より早まり、八代排水機場のポンプ停止時間が早まり、内水被害が増大するのではないか。

③について

- 激特事業により、八代水門の水門操作水位に達す時間は約30分遅くなる。
- 遊水地整備前後を比較した場合は、現在、グラウンド等がある右岸高水敷高が操作水位より高いため、水門操作水位に達す時間は変わらない。

④について

- 激特事業によりポンプ停止時間は約1時間40分短縮される。
- 遊水地整備後では遊水地で貯留が始まる前に危険水位（＝ポンプ停止水位）に達することから、若干（約5分）ポンプ停止時間が延びるが、既に激特事業により当該リスク増分は解消させている。



激特事業により約30分八代水門の水門操作水位に達する時間遅くなる。遊水地整備前後では変化がない。

激特事業によりポンプ停止時間は約1時間40分短縮されている。遊水地整備後で、若干ポンプ停止時間が延びるが、激特事業により当該リスク増分は解消済。

⑤ 団繞堤等川幅が狭くなることから、平成16年台風23号洪水を上回るような洪水によって遊水地が満水になった場合は、水位上昇や流速が早くなり、危険度が増大するのではないか。

⑤について

- 整備計画で対象としている平成16年台風23号を上回りHWLを超過する洪水が発生した場合には、現況でも危険な状態となる。
- 遊水地整備後においても、平成16年台風23号を上回りHWLを超過する洪水については、当該箇所を含め全川的に氾濫が生じるおそれがあることから、当該箇所だけが特に危険になる訳ではない。

